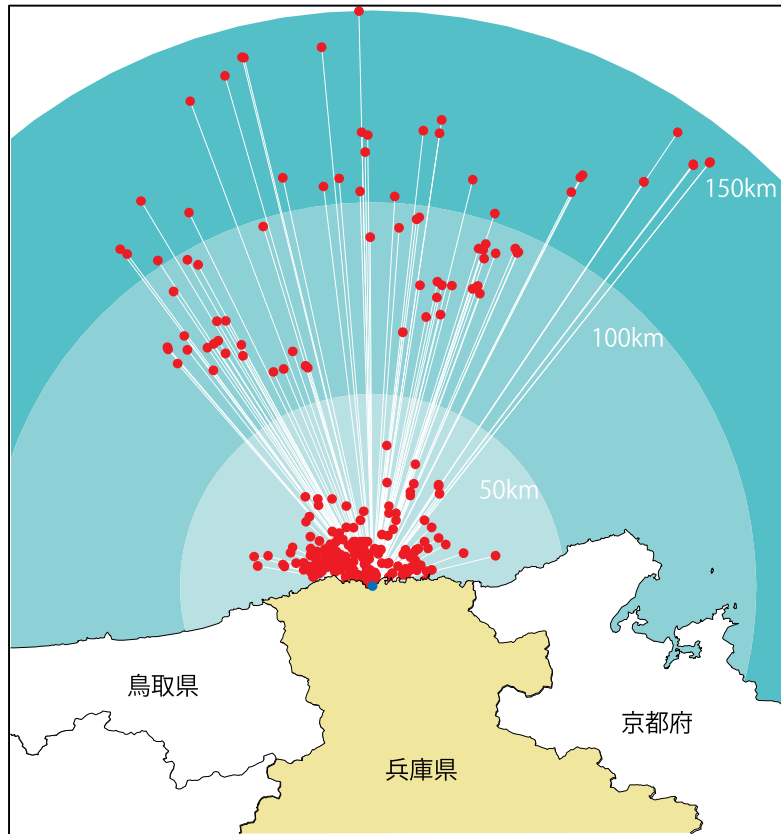


海の監視ネットワークの取り組み



平成30年度水産多面的機能発揮対策事業
海の監視ネットワーク強化（香住の海の会）
上の図は、兵庫県の「香住の海を守る会」（但馬漁協香住支所）による1ヶ月間の漁船の監視位置を示したものです。沖合はベニズワイガニ籠漁業、沿岸は1本釣り漁業や沿岸イカ釣り漁業などであり、沖合と沿岸の2重の監視網が構築されていることがわかります。



香住の海の会

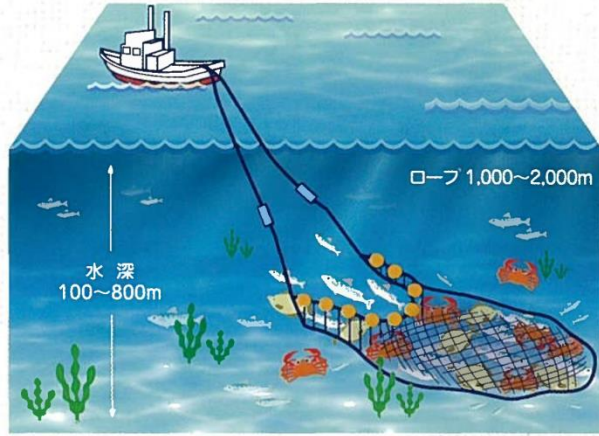
（事務局）

但馬漁業協同組合
庶務課副課長

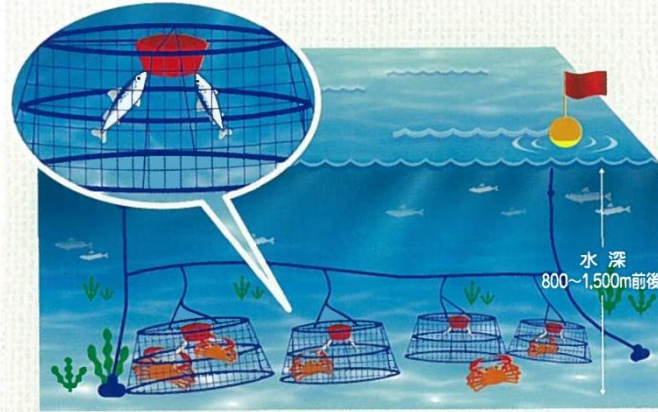
香住支所
駒居 慧一

香住の漁業

〔底びき網漁のしくみ〕



〔べにずわいがにかご漁のしくみ〕



〔いかつり漁のしくみ〕

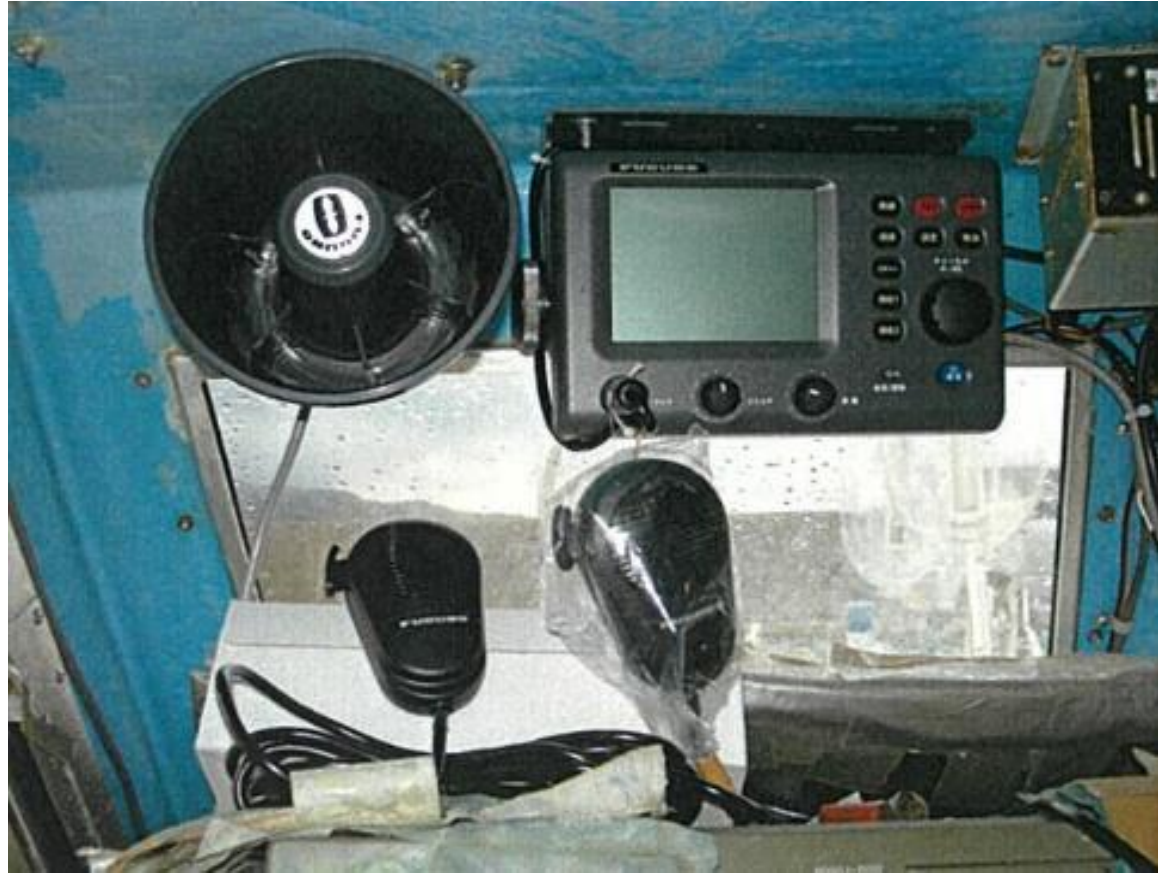


活動組織の活動内容(概要)の経過

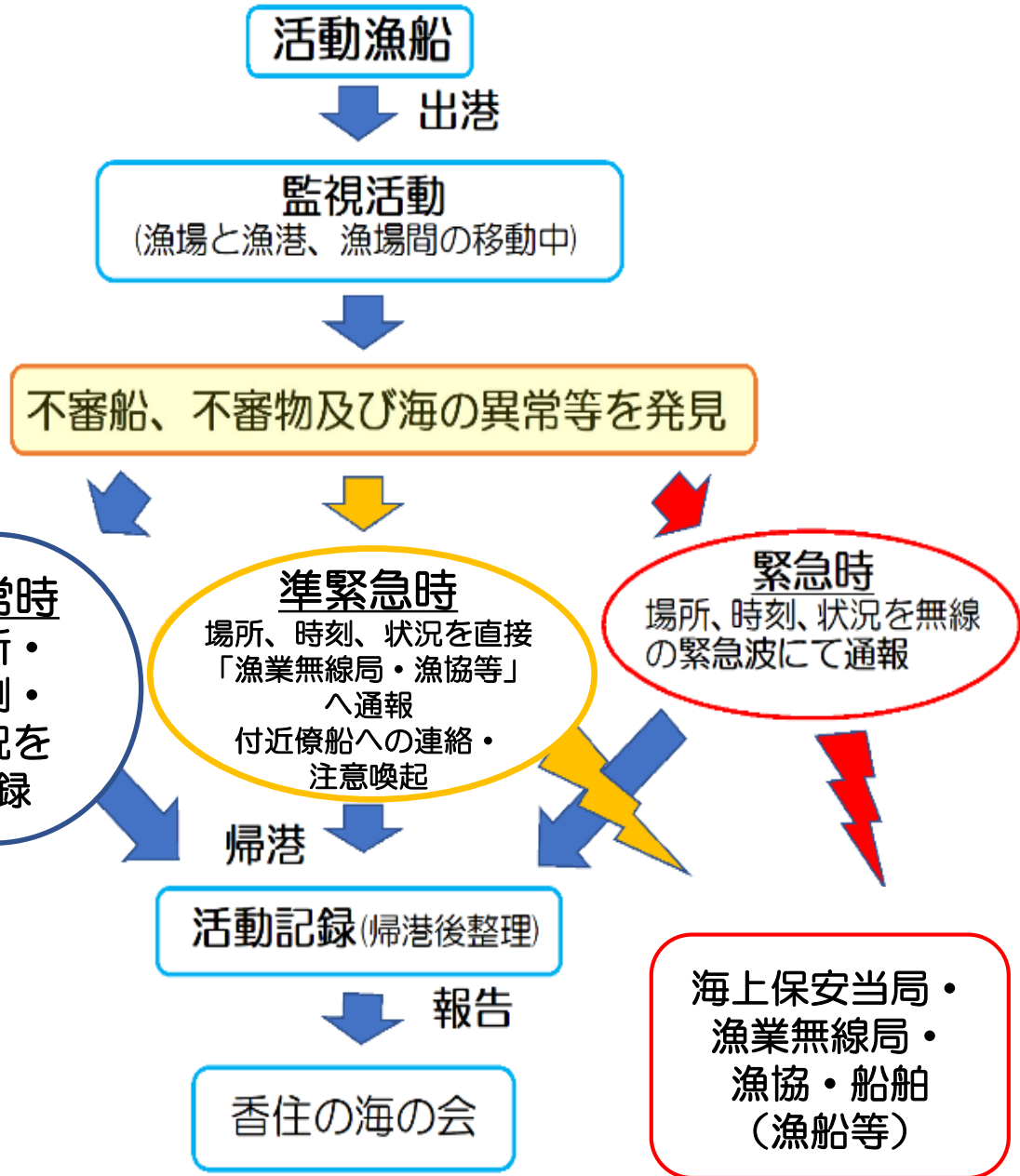
年度	活動組織	活動項目	活動内容
H 25	香住の海の会	水域の監視	無線機器一式の整備(7隻) 出漁中の簡易な監視活動(24隻:9月～11月の間に142回)
	香住少年少女 水産教室	教育と啓発の場の提供	小学生・保護者13名対象に、乗船体験・座学・料理教室
H 26	香住の海の会	水域の監視	無線機器一式の整備(13隻)、 出漁中の簡易な監視活動(20隻:9月～11月の間に157回)
	香住少年少女 水産教室	教育と啓発の場の提供	小学生・保護者38名対象に、乗船体験・座学・料理教室
H 27	香住の海の会	水域の監視	出漁中の簡易な監視活動(20隻:9月～11月の間に161回)
		漁村文化の継承に 資する教育・学習	小学生・保護者24名対象に、乗船体験・座学・料理教室
H 28	香住の海の会	水域の監視	出漁中の簡易な監視活動(20隻:9月～11月の間に142回) 一斉休漁による監視活動(6月～8月の間に4回、延べ64隻)
		理解・増進を図る取組	小学生・保護者20名対象に、乗船体験・座学・料理教室
H 29	香住の海の会	国境・水域の監視	出漁中の簡易な監視活動(20隻:9月～11月の間に128回) 一斉休漁による監視活動(6月～8月の間に3回、延べ53隻)
		理解・増進を図る取組	日程調整がとれず中止
H 30	香住の海の会	海の監視ネットワーク強化	海の監視ネットワーク強化 (39隻:4月～3月(年間) 海上1825回・陸上70回)
		理解・増進を図る取組	小学生・保護者24名対象に、乗船体験・座学・料理教室
R 01	香住の海の会	海の監視ネットワーク強化	海の監視ネットワーク強化 (37隻:4月～3月(年間) 海上2160回・陸上202回見込)

* H25～29の簡易な監視活動とは、操業中の異常発見時(事故・密漁・漂流物・水色等)に記録・報告するボランティア活動。

無線機器の設置 (H25年度・H26年度)



海の監視ネットワーク強化の体制



海の監視ネットワーク強化の活動マニュアル

海の監視ネットワーク強化活動マニュアル

監視の方法

- ① 通常の操業を兼ねて監視活動を行う。
 - ・ 監視活動は漁場と香住港の間及び漁場と漁場の間等、主に移動中等に行う。
- ② 監視活動では、不審船や不審物、海の異常について監視する。
 - ・ 不審船や不審物を発見した場合にはむやみに近づかず、発見場所、時刻を記録する。可能であれば写真を撮影する。
 - ・ 「水色の異常」「有害生物の異常発生」「油等の漂流」「多量の漂流物」等、海の異常を発見した場合には、発見場所、時刻を記録する。
 - ・ 緊急性がある場合は、速やかに香住漁業無線局及び僚船に無線連絡を行う。
- ③ 監視活動の結果を報告する。
 - ・ 帰港後、活動記録表を活動日毎に記入し、報告を行う。
 - ・ ただし、緊急を要する場合は現場にて香住漁業無線局及び僚船に無線連絡を行うとともに、漁協にも連絡をする。
- ④ 監視活動中は安全確保に努める事。
 - ・ 監視活動並びに操業中の事故防止はもちろんの事、特に不審船や不審物を発見した場合は、むやみに近寄らず、香住漁業無線局に無連絡を行い、海上保安庁等関係機関の指示に従うこと。

監視結果の記録

活動日ごとに、別紙活動記録表に監視日時、監視海域、監視結果及び無線局等への連絡の有無を記入し、押印する。

活動記録の提出

活動記録表は必ず1週間ごとに事務局（漁協）に提出する。

海の監視ネットワーク強化の活動記録

海の監視ネットワーク強化活動記録

活動組織名：香住の海の会

報告者氏名

漁業種類：

一本釣り 漁業

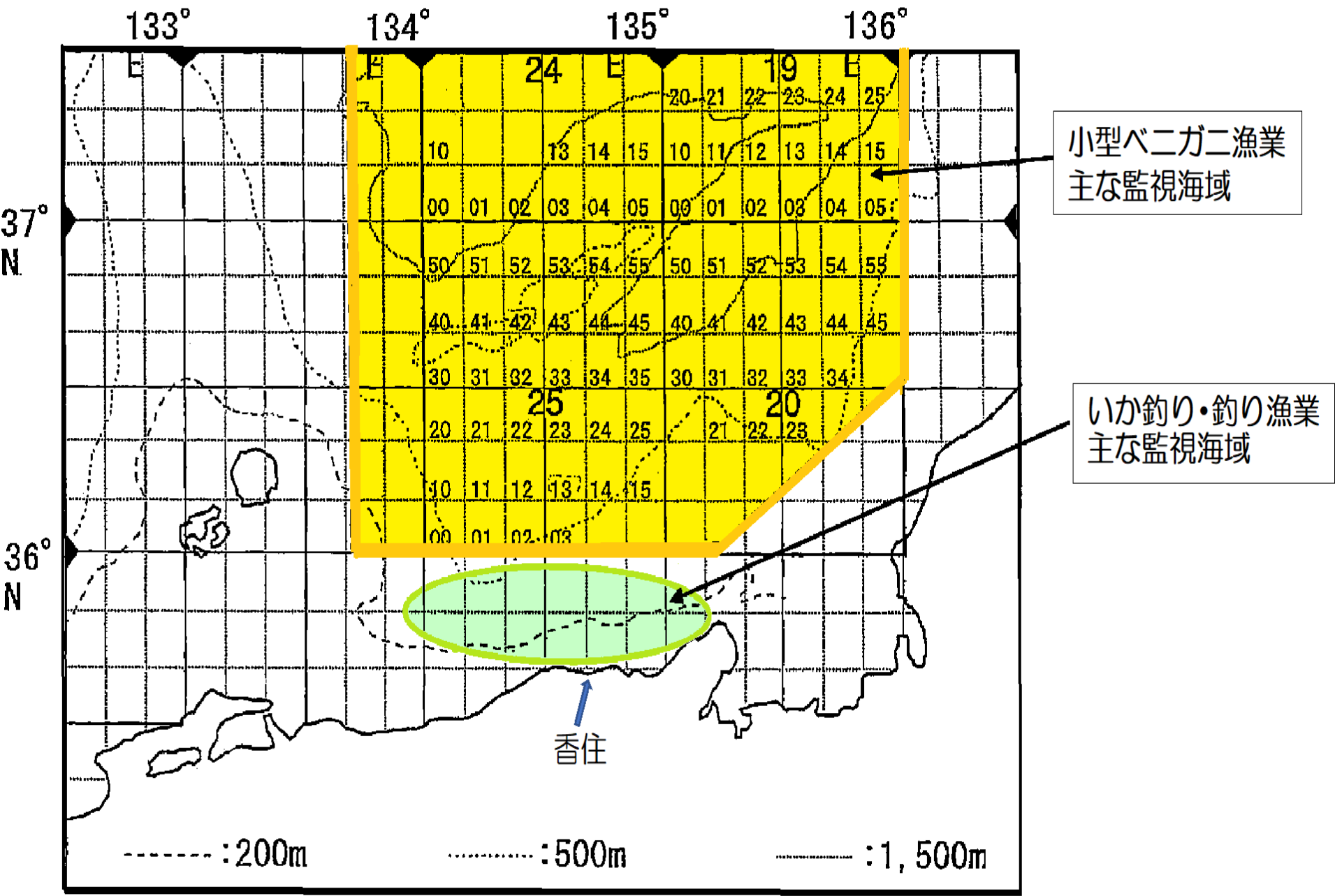
漁船名：

登録番号

拠点港 兵庫県 香住 港

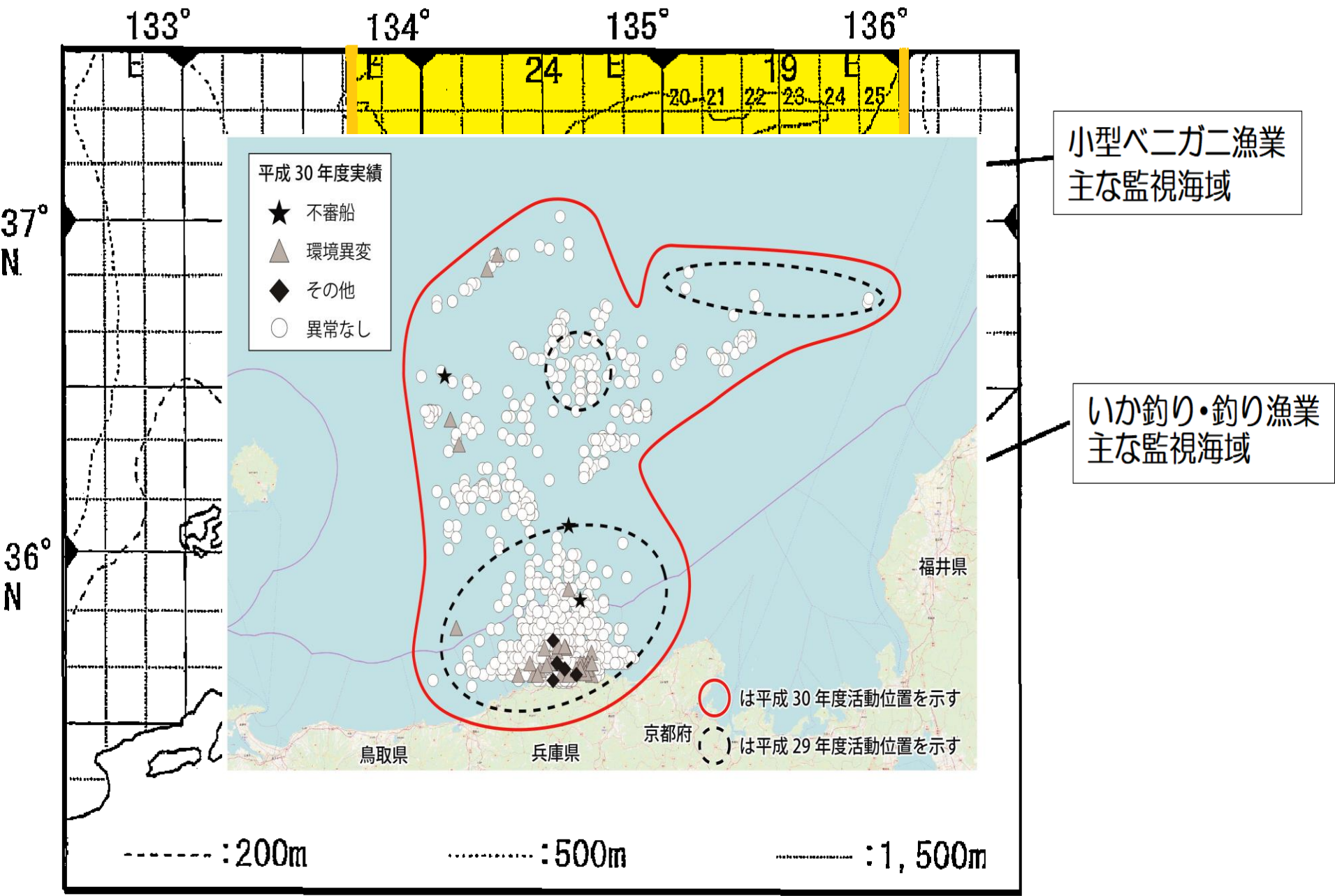
監視海域 (位置の記入は、距離も可)		監視結果 (□に「レ」を入れ、()内の項目に○を記して下さい。)		無線局 等への 連絡	付近 僚船への 連絡
監視日時	6月19日17:00~6月20日5:25	□ 異常なし	<input checked="" type="checkbox"/> 異常あり (6月20日 5:10)	有 ・ 無	有 ・ 無
代表的な監視位置 (異常視認位置)	(N 35°-39'15" E 134°-38'52")		<input type="checkbox"/> 不審船 (操業中・航行中・停泊中・その他())		
漁場の位置	(N 35°-41'05" E 134°-28'89")		<input type="checkbox"/> 漂流物 (ロープ・流木・その他()) <input type="checkbox"/> 環境異変 (通常より) <input type="checkbox"/> その他 ()		
監視日時	6月20日17:20~6月21日1:45	□ 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり (月 日 :)	有 ・ 無	有 ・ 無
代表的な監視位置 (異常視認位置)	(N 35°-41'42" E 134°-30'21")		<input type="checkbox"/> 不審船 (操業中・航行中・停泊中・その他())		
漁場の位置	(N 35°-40'28" E 134°-26'08")		<input type="checkbox"/> 漂流物 (ロープ・流木・その他()) <input type="checkbox"/> 環境異変 (通常より) <input type="checkbox"/> その他 ()		
監視日時	6月22日16:50~6月23日5:45	□ 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり (月 日 :)	有 ・ 無	有 ・ 無
代表的な監視位置 (異常視認位置)	(N 35°-43'31" E 134°-31'28")		<input type="checkbox"/> 不審船 (操業中・航行中・停泊中・その他())		
漁場の位置	(N 35°-42'43" E 134°-23'82")		<input type="checkbox"/> 漂流物 (ロープ・流木・その他()) <input type="checkbox"/> 環境異変 (通常より) <input type="checkbox"/> その他 ()		
監視日時	月 日 : ~ 月 日 :	□ 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり (月 日 :)	有 ・ 無	有 ・ 無
代表的な監視位置 (異常視認位置)	(N E)		<input type="checkbox"/> 不審船 (操業中・航行中・停泊中・その他())		
漁場の位置	(N E)		<input type="checkbox"/> 漂流物 (ロープ・流木・その他()) <input type="checkbox"/> 環境異変 (通常より) <input type="checkbox"/> その他 ()		

海の監視ネットワーク強化の位置図



(1998年9月 兵庫県但馬水産事務所試験研究室作成 日本海ベニズワイかご漁業漁場図)

海の監視ネットワーク強化の位置図



(1998年9月 兵庫県但馬水産事務所試験研究室作成 日本海ベニズワイかご漁業漁場図)

海の監視ネットワーク強化・監視活動のまとめ

(平成29年度まで)

無線機の導入や簡易な監視活動等によって監視体制が整う

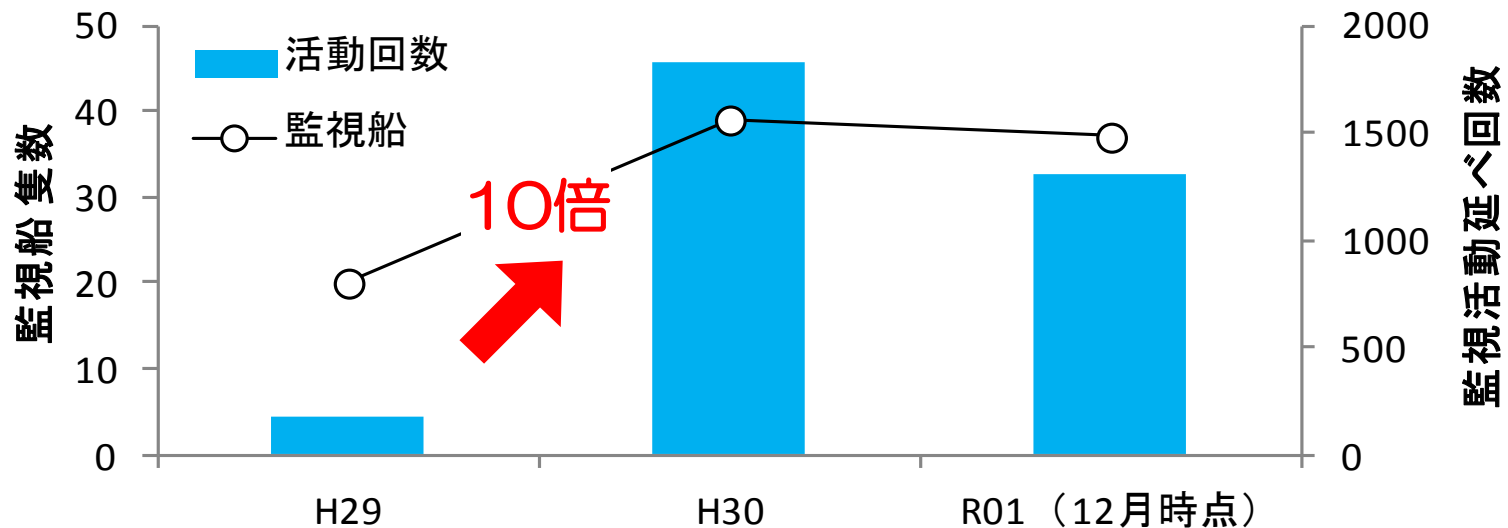


(平成30年度以降)

監視ネットワークの強化
(監視船の拡充, 活動記録・報告の徹底)

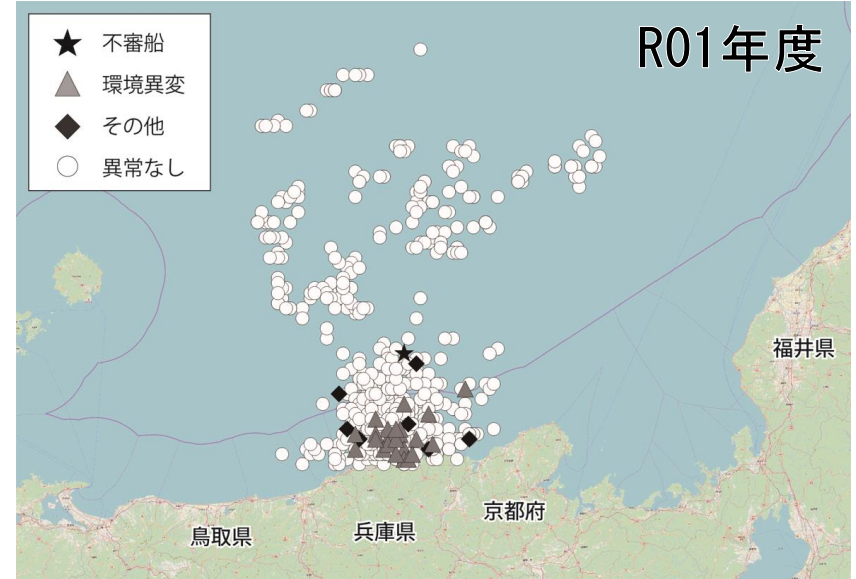
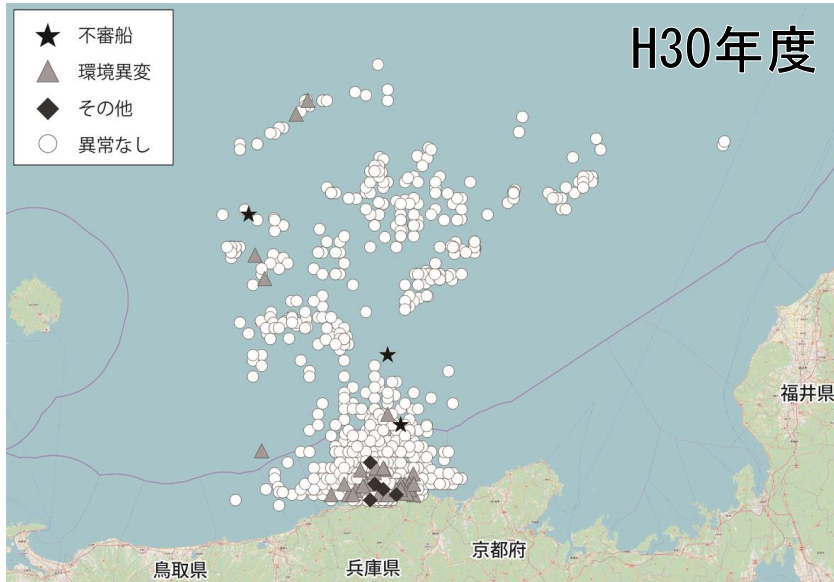


- 監視活動の延べ回数が、大幅に増加！

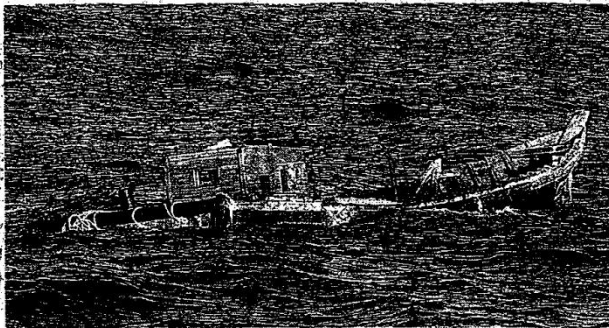




- 監視活動による異常の発見は、流木や浮遊ロープ等がほとんどだが、不審船の情報も数件報告されるようになり、本年度は北朝鮮籍と思われる無人の木造船を海上で早期に発見することができた。



香住沖を漂流している木造船（舞鶴海上保安部提供）



香住沖に無人の船
北朝鮮から漂流か
舞鶴海保発表

舞鶴海上保安部は12日、香美町香住区の香住海岸沖約40キロの日本海で、無人の木造船を発見したと発表した。船体にハングル表記があり、船体の特長から北朝鮮から漂流したとみられる。

同保安部によると、同日午後2時すぎ、航行中の漁船が水没状態の漂流船を発見して同保安部に通報した。木造船は全長約20メートル幅約3メートル。船内や周辺に入の姿は確認できなかった。船首の船名は赤色で塗りつぶされていたという。

同保安部は港への曳航は無理と判断。第8管区海上保安本部が漂流船に注意するよう呼びかけている。



- 活動に伴い、市出しも多くなり、浜での漁業者同士の情報交換が多くみられるようになった。
- 監視活動に参加していない採貝藻漁業者等においても、密漁や環境異変等に対する監視の意識が高まっており、海上の安心・安全に対する機運が地域全体に波及している。



- 課題は、漁業者の高齢化による監視活動の低迷である。



- 地先海域の安心・安全の監視は、恒久的な活動である。最近の不審船（主に北朝鮮）の増加等の事案もあることから、今後、周年に亘って沿岸や沖合で操業を行う後継者の育成を図るとともに、監視活動の重要性と理解増進を地域全体に図っていきたい。



水域環境の保全並びに海難事故等の減少

A row of glowing incandescent light bulbs hanging from a metal structure against a sunset background. The bulbs are arranged in a line, and their light creates a warm, golden glow. The background shows a sunset over a landscape with hills, and various mechanical parts of the structure are visible in silhouette.

ご清聴有り難うございました。